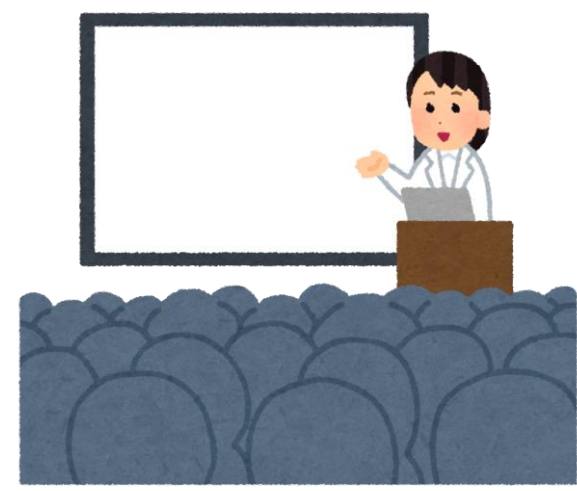


# 博士後期課程に進学しよう

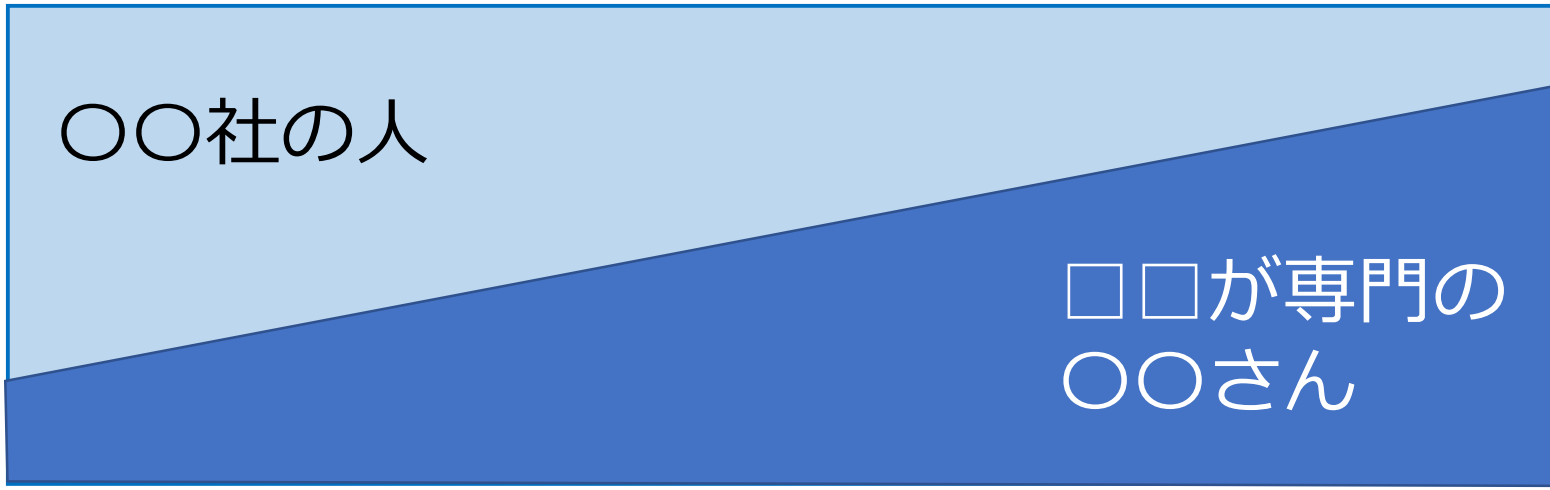
君たちの可能性は自分が思っているよりも大きい  
決断は、早い方が良い

名古屋大学環境学研究科

# 博士号を持っているとは



学士  
修士



## 博士

究めたことの証

- 時間を使って考える
- 論文を投稿して認めさせる
- 学会で発表して議論する

# 博士号の価値と必要度が高い職業

学士と修士の違いは小さい、博士は社会的に大きな優位性を持つ  
専門性の高い職業では、「博士」は信頼されるあかしとなる

- ◆ 大学教員（教授・准教授など）になる
  - ◆ 国立研究開発法人の研究者になる
  - ◆ 企業の研究者になる（徐々に博士取得者の採用が増えている）
  - ◆ 外国で社会的地位の高い職を得る
  - ◆ 国連など、国際機関で職を得る
- 
- ◆ 国内企業でも
    - ・ さまざまな分野を巻き込むプロジェクトのリーダーを任される
    - ・ 海外の企業との共同プロジェクトに携わる

研究者や社会で活躍するリーダーとして国際的に活躍する能力を身につける

1. 自分のためだけに使える自由な時間
  - 独創性、企画力、指導力など人間力を総合的に高める勉強ができる。
  - 自らを鍛え、積極的に行動する能力を養うことができる。
2. 研究者としての高度な能力の習得
  - 自由な発想に基づく世界最先端の研究を行える。
  - 自分のアイデアを活かす研究ができる。
  - 国内外の共同研究や学会で、最先端研究者と議論できる。
3. トランスファラブルスキルの習得
  - 大学院共通科目で、論文執筆能力、プレゼン能力、リーダーシップ・マネジメント・チームビルディングなどを学ぶことができる。

# 社会人はなぜ「博士」を求める

## 「知の競争プログラム」応募者の動機から

- ・政策立案において、20-30年の**長期ビジョン**を示せるようになりたい。
- ・国際交渉に対応できる、**高い専門性**と研究者との太いパイプを手に入れたい。
- ・自治体の文化財調査・博物館などの企画に活かしたい。
- ・環境技術の社会実装のノウハウを身につけたい。
- ・地域の問題解決のためのファシリテーションに活かしたい。
- ・企業活動において、真に持続可能な社会形成につなげたい。

## その他

- ・国際会議で、博士号をもっていないと議長もさせてもらえない。
- ・外国企業と打ち合わせをすると、先方は「博士」がずらり。名刺交換ですでに負けている。

## 企業における博士

博士取得者は、早い段階で、リーダーとして抜擢される。

- 海外企業との対応責任者(カウンターパート)
- 大学等との共同研究の中心的役割。
- 海外拠点におけるリーダーを任される。
- 博士号を持っていると、若手でも信用され、海外でも仕事がしやすい。

## 起業するにあたり

- 博士号を持っていると、若くても話を聞いてもらいやすい。
- 学生ベンチャーはスタートアップ支援を受けやすい。

## 経済的支援

- 学術振興会特別研究員 DC1, DC2（応募者の20-30%）  
月額 20万円 + 研究費150万円/年
- 博士後期課程奨学金採用時返還免除

## 就職支援

### ジョブ型研究インターンシップ（事務局アカリク）\*\*

- 研究遂行能力の基礎的な素養・能力を持った大学院学生を対象
- 長期かつ有給で、企業のジョブ「職務」に挑戦・実践
- **博士後期課程**から積極的に実施

\*\* 従来の日本企業の新卒採用は「メンバーシップ型採用」と呼ばれ、学士・修士を新卒一括採用したのち、社内でさまざまな仕事を経験させて長期的に人材育成してきた。ジョブ型採用とは、仕事内容を明確にして専門性の高い人材を採用する方法。博士の採用に有利。近年、ジョブ型採用を行う企業が増えてきた。



# 名古屋大学の支援 -経済的支援-

- 名古屋大学融合フロンティアフェローシップ & 東海国立大学機構融合フロンティア次世代リサーチャー制度 (175名/学年)
  - 月額 18万円 + 研究費 25万円/年
  - M1 及び M2 の2月に募集
- 学振DC採用者等を対象とした授業料免除
- 名古屋大学環境学研究科 次世代環境人材育成奨学金
  - 年額50万円
  - 経済的困難を抱える学生に、M2-D3で総額400万円
- 各研究室におけるRA (Research Assistant) 雇用



## 【博士課程教育推進機構 キャリア支援・教育部門】

- ◆大学院生のためのキャリアガイダンス（毎月開催）  
後期課程進学後のキャリアについて説明
- ◆B人セミナー  
博士号を持って就職するためのセミナー  
博士進学ガイド（学部生・博士前期学生ための進学案内）
- ◆企業と博士人材の交流会  
博士取得者の採用を検討している企業との交流会
- ◆博士のキャリアウェビナー  
OB/OGたちが、自身の現職までのキャリアを語る。相談にも乗ってもらえる。
- ◆その他  
個人相談 や インターンシップ支援を行っています。





## 【Tongali（東海発起業家育成プログラム）】

- ◆次世代の起業家を育成・支援する多面的プログラムを提供
- ◆メンタリング、活動拠点提供、資金援助、ノウハウ提供
- ◆各種イベント開催
  - 世界丸ごとアントレ研修
  - アイデアピッチコンテスト
  - Tongali スクール
  - シンポジウム各種



博士課程教育推進機構により、多様な講義・研修が提供されている

## 1. 大学院共通科目の提供

- プロフェッショナル・リテラシー： PhDスキルの紹介
- 研究科を超えた解放科目： Academic writing、ベンチャービジネスなど

## 2. PhDスキル研修

- 研究者のみならずビジネスでも役立つスキル指導 -トランスファラブルスキルの習得-
- 思考力、提案力、協働力、自律力の養成
- 専門を超えた広い視野、コミュニケーション能力、企画力、リーダーシップ能力
- 国際的に通用する英語力

## 3. その他

- トップリーダートーク： 各界の指導的立場にある人とのディスカッション
- 5 minute Research Communication Lunch： ランチタイムを利用して異なる領域の研究に触れる

## 名古屋大学博士後期課程ディプローマポリシー

真の勇気と知性を持ち、未来を切り拓いていく「勇気ある知識人」として、それぞれの学術分野における研究者や社会で活躍するリーダーにふさわしい、高度な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心をもった人材。

# 名古屋大学環境学研究科が育成する博士人材像

## 名古屋大学環境学研究科 博士後期課程ディプローマポリシー

### 研究科共通

- 環境学の基礎に裏打ちされた思考力で環境問題に果敢に取り組む
- 自らの専門領域に閉じない柔軟な英知を備える
- 文理にまたがる幅広い学問分野を自由に咀嚼する能力を備え、次世代の新しい学術分野を創造する
- 人類社会の中での自らの役割を見出すことができ、研究者や社会で活躍するリーダーとして国際的に活躍することができる

### 地球環境科学専攻

地球の環境に関する科学的知見を深化させる取り組みを通して、社会に貢献できる能力を備えた人材。

### 都市環境学専攻

人間活動の場である建築、都市あるいは地域における人工環境と自然環境・人間環境の新たな関係を自ら創出し、学術的に理論化する能力を備えた人材

### 社会環境学専攻

より高度な専門的見地より、価値規範の妥当性と科学的客観性を備えた政策評価・提言に資する能力、あるいは国内外の社会環境政策に関わる様々な分野の要求に応えることのできる能力を備えた人材

# 博士後期課程進学は、いつ決断したら良いか？

## ◆ 早く決断しよう

- 前期・後期を通じた効果的な学修計画・研究計画を立てるために、早く決断した方が圧倒的に有利です。
- 早く始めて論文を出すことができれば、学術振興会特別研究員への採用可能性も高まります。
- 短縮修了の可能性も高まります。

## ◆ 進学希望は、できるだけ早く指導教員に伝えよう

- 前期課程で終わるか、後期課程まで進むかで、一般に指導方針が異なります。
- 後期課程に進む学生には、博士学位取得を念頭に指導します。

## ◆ キャリア教育室に相談しよう

- 担当教員が、気楽に相談に乗ってくれます。
- 博士進学ガイドなどイベントも行っています。